

## 第2次岡崎市文化振興推進計画（案）に対する意見と市の考え方

	意見	市の考え方
1	<p>28 頁「(2)文化を創造する次世代の人材の育成」の演劇ワークショップについて、(中略)親子向けの事業とは趣旨の異なるものです。</p> <p>青少年の健全な育成に寄与すると共に、高齢者の方々が新たな生き甲斐を見出す機会になっているのです。</p> <p>今回の計画案を一読いたしました。が、「高齢者の為の参加型文化事業」という視点からのアプローチがない様に感じます。</p> <p>そこで、「施策・事業名」の「文化の担い手となる青少年の育成」を「文化の担い手となる青少年の育成と、少子高齢化社会に向けた新たな生き甲斐づくり」として、その事業内容として演劇ワークショップを取り上げていただくことを提案いたします。</p>	<p>演劇ワークショップの記載を、施策番号 15「親子のためのコンサート・演劇・ミュージカル等企画」から施策番号 17 へ変更します。</p> <p>また、ご意見の趣旨を鑑み、説明文の文面を変更します。具体的には、説明文内に「高齢者」の言葉を追記することとし、御指摘の視点が明確になるように修正します。</p> <p>さらに、「演劇ワークショップ」事業を含み、関連する事業をまとめて「文化芸術に関するワークショップ」という記載に整理することとし、施策番号 17 の施策・事業名を、「文化の担い手となる青少年の育成」から「次代の文化の担い手育成」に変更します。</p> <p>本計画に記載の趣旨を鑑み、子どもや青少年から高齢者まで、年齢を問わず、幅広い人材を対象とした「次代の文化の担い手」を育成する事業を推進してまいります。</p>

いただいたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約しています。